



2023年12月26日

各位

会社名 川西倉庫株式会社
代表者名 代表取締役社長 川西 二郎
(コード番号 9322 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役 高杉 誠
(TEL 078-671-7931)

サステナビリティ基本方針の策定及びマテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、持続可能な社会の実現と企業価値の向上にいつそう取り組むため、「サステナビリティ基本方針」を策定し、マテリアリティ（重要課題）の特定をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針

『川西倉庫グループは、企業価値向上の観点からサステナビリティを巡る課題への対応の重要性を認識し、長期ビジョン「KAWANISHI 2030」および中期経営計画「Vision 2024 物流イノベーションへの挑戦」においても、環境問題やSDGsをはじめとする社会課題や環境の変化に対応すべく具体的な取り組みを掲げて推進しております。

創立100年以上にわたり積み上げてきたステークホルダーの皆さまからの信頼と当社グループが持つ強みを基盤に、これからの新たな価値の創造に向けてチャレンジをし、魅力ある企業であり続け、生産と消費を結びつける生活の基盤を支える公共性の高い企業として、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。』

2. マテリアリティの特定

サステナビリティ基本方針のもと、当社グループが取り組むべき9つのマテリアリティを特定いたしました。

社会課題のなかでの企業価値拡大マテリアリティ

カテゴリー	マテリアリティ
日本社会の少子高齢化	DX・省力化投資を通じて作業負荷を低減させることで、少子高齢化社会においても労働力不足がネックになることなく持続的な倉庫・物流サービスが提供できる体制の構築
	人手不足による物流の停滞が懸念されるなか、荷主企業、当社、協力会社の相互理解と協力のもと、DXの活用を通じて効率性を高める物流業務の革新
地球温暖化・自然災害対策	物流GXの推進による物流施設の脱炭素化と地球温暖化対策とともに、太陽光発電・蓄電設備を活用することによって自然災害等の停電時でも倉庫の稼働を続けられる耐性の強化

持続的な経営基盤構築マテリアリティ

カテゴリー	マテリアリティ
コーポレート・ガバナンス	会社の成長ステージに合ったミッション・ビジョンの策定・浸透と事業戦略の実行を通じて企業価値の拡大を図る取締役会の維持・強化
従業員エンゲージメント向上	頑張った社員が適切に評価されることで社員の働きがいを高めるとともに、キャリアパス形成のコース選択など多様な働き方にも対応する人事評価制度の整備
	新しい世代の価値観を考慮しつつ、現場ノウハウを継続的に教育・研修することによる倉庫・物流サービスの品質維持・向上
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進、特に中核となる女性活躍を図ることで様々なビジネスの展開に必要な多様性の維持・拡大
リスク管理	DX化の推進に付随して高まるデータセキュリティ・リスクに対して、サイバー攻撃への備えや情報漏洩を起こさない運営体制の確立
財務体質の確保	倉庫の新設や運送部門の強化など必要なタイミングで機動的な事業戦略を展開できるための財務体質の確保

※ 具体的な取り組み等につきましては、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.kawanishi.co.jp/01company/sdgs.htm>

3. 今後について

マテリアリティに関する具体的な取り組み、評価指標（KPI）について、定期的な進捗管理を行ってまいります。また、マテリアリティについては、社会的課題に関する認識の変化を考慮し、定期的に見直しを行ってまいります。

以上